

目標達成計画

事業所名 グループホーム「ほろほろ」
作成日 平成23年12月6日

別紙B

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップへ向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無くなり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるような、事業所の質向上をめざして優先して取り組む点を話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	運営推進会議を活かした取り組み	委員の方々が参加し下りて有意義がもたれたい。次回にも進んで参加し下さるような会議を目指す事	議題を工夫に興味を持って頂き地域の方々との交流や利用者の家族との交流や開放されたグループホームに向けて実施していく。	12か月
2	6 (5)	身体拘束はいけずの実践	認知症の低下と防止して拘束ベルトや拘束ねまきを使用しない介護を目指す事	個別にかりわす時間を多くもち傾聴に重点を置き心理的ケアを深めるとともに体力低下の防止に向けて外出の機会を多くもたせる。	12か月
3	19	本人と共に支えあう家族との関係	家族との交流と寄り添った外出時の共有の時間を持つ頂くため出席を求め利用者、職員連帯的意識をたかめる。	毎月お便りを出して日常の生活を把握し頂き、毎日の出来事等をTELで話しコミュニケーションを多く取っている。	12か月
4	26 (10)	チームで作る介護計画とモニタリング	毎週木曜日にカンファレンス日と定めている。	職員全員で情報を集めて会議で話し合い介護計画を作成し実践できているか見直し毎朝朝礼の時の1項目に取り入れて実施していく。	12か月
5	33 (12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	ADLの低下に伴い重度化しゆく利用者や終末期でホームでくらすよう支援する	主治医、訪問看護との連携を充実し適切な対応ができるよう介護技術と向上を目指す研修と院内研修を実施していく。	12か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の値を記入してください。